2023年度事業計画書

（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

特定非営利活動法人フードバンク京都

1. 事業の方針

特定非営利活動法人フードバンク京都は2018年10月に発足以来「もったいないからありがとうへ」を合言葉に、廃棄される食品を、少しでも支援が必要な人々に届ける活動を進めてきました。

フードバンク京都は、食べ物を通して必要とされる人たちへの支援の活動を継続、発展させて行くことを基本に、地球環境維持のSDGｓなどの取組も進めていきたいと考えます。

そのために、設立趣旨や定款に基づいて、引き続き以下の事業を進めます。

1. 社会福祉施設及び要支援者への支援を行っている団体への食品提供事業
2. 行政機関などからの要請に応えて、要支援者への食品を手配する緊急支援事業
3. 個人、団体、企業からの食品の引き取り事業
4. 支援農産物の確保のための自主農園での生産事業

これらの事業を発展させるために、次の活動を重点に取り組んでいきます。

❖継続した活動を支える体制を作ります。

有り難いことに、フードドライブをしてくださる店舗が増え、食品の回収量が増加していますが、それと同じくらい支援の要請も増えています。私たちの活動がますます重要となってきている中、活動を続けていくために、負担の少ない体制を考えていきます。

1. 緊急支援依頼からお届けまでの作業マニュアルを作り、多くの方に作業を分担して行ってもらえるようにします。
2. 配送、引取業務の負担軽減のため、支援先に引き取りに来てもらったり、寄付品を持ち込んでもらったり、さらに、宅配便を利用するなども含め、負担のない方法を考えていきます。

❖助成金を活用し、支援ネットワークを強化します。

　仕分け、アソート（支援品準備）、配送、野菜作りといった具体的な活動以外の、支援依頼などの問い合わせの対応、配送者の手配、助成金の申請手続きといった業務は、理事が担っていますが、本業の片手間では追いつかない量となっています。そのため、活動を継続・発展させていくためにも、助成金を利用して専従者を雇用します。

　専従者を雇用することができれば、これまでできなかった寄付元や支援先との面談を行い、ネットワークを強化し、より良い支援を目指します。また、京都府下の他のフードバンクや市町村の相談窓口、社会福祉協議会などとの連携を進めていきます。

❖引き続き、自主農園での設備の充実をはかります。

　私たちは、お届けする食品の中に、農園で収穫したお野菜を加えることで、支援先に「応援の気持ち」もいっしょにお届けしています。それを一歩すすめて、支援先の方を農園にご招待して、直接「応援の気持ち」を伝える取り組みも考えています。農作業をいっしょにしながら、いろんなお話をさせていただくことが、支援者の方が前を向いてがんばる力につながるのではと期待しています。今年度はまず、お子さまのいる家庭の方に向けて、上記の取り組みを行っていきたいと考えています。

2　事業の実施に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 社会福祉施設及び要支援者への支援を行っている団体等への食品提供事業
 |
| 具体的な事業内容 | 母子支援施設、児童養護施設、自立支援ホーム、子ども食堂の他、弁当や食品配布などで困窮者への支援活動を行っている団体への食品支援を行う |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 京都府内の各施設 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約40人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 施設などへの入居者や利用者 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約2,000人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 行政機関などからの要請に応えて、要支援者への食品を手配する緊急支援事業
 |
| 具体的な事業内容 | 行政機関を通じて、困窮状態に陥った個人へ出来るだけ迅速に支援食品を届ける |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 京都府内 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約30人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 行政機関が支援を必要と判断した個人 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約60人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 個人、団体、企業からの食品の引き取り事業
 |
| 具体的な事業内容 | フードドライブ、災害用備蓄食品、余剰食品など無償で提供していただける食品を引き取る |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎月 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 主に京都府内 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約30人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | 支援が必要な個人、施設などの入居者や利用者 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約2,000人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名（定款に記載した事業） | 1. 支援農産物の確保のための自主農園での生産事業
 |
| 具体的な事業内容 | 無償貸与を受けている農園で、有機農法の専門家の指導も受けて、より安心な農産物を生産する |
| （Ａ）当該事業の実施予定日時 | 毎日曜日 |
| （Ｂ）当該事業の実施予定場所 | 京都市西京区大原野上羽町 |
| （Ｃ）従事者の予定人数 | 月毎約30人 |
| （Ｄ）受益対象者の範囲 | ①と②の事業の対象者 |
| （Ｅ）予定人数 | 月毎約１,000人 |